



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本・UNDPパートナーシップ

DC開発フォーラム(第234回)
2013年4月30日

国連開発計画
対外関係・アドボカシー局日本ユニット
二瓶直樹

自己紹介



Empowered lives.
Resilient nations.

- 2003年 国際協力事業団(現国際協力機構)入団
九州国際センター研修業務課
 - 自治体との連携、途上国向け技術研修員受入事業
- 2005年 外務省経済協力局出向
 - 中東地域の円借款
- 2006年 人間開発部基礎教育グループ
 - アジア地域の基礎教育支援(教員能力強化、識字、教材)
- 2009年 ウズベキスタン事務所
 - 市場経済化のための法整備、人材育成
 - 電力及び運輸インフラ整備、国境管理
- 2012年 国連開発計画出向(現在に至る)

UNDPとは何か？(1)



*Empowered lives.
Resilient nations.*

- 途上国に対する開発を支援。
- 1966年に設立し、国連総会及び経済社会理事会の管轄下。UNDP執行理事会が年3回開催。36カ国がメンバー(含む日本)
- NYに本部があり、135の国と地域に常駐事務所を設置。
- 166の国や地域で年間6000件を上回るプロジェクトを実施(国連システム最大のネットワーク)



*Empowered lives.
Resilient nations.*

UNDPとは何か？(2)

- 年間予算:約47億ドル(2009年)
このうちコアは約10億ドル、ノン・コアは約37億ドル
- 基幹スタッフ:約7000名(日本人は約90名)
- UNDPが運営する計画・基金
 1. 国連開発ボランティア計画(UNV)
 2. 国連資本開発基金(UNCDF)
 3. 国連女性開発基金(UNIFEM)
- UNDP総裁:ヘレン・クラーク(元ニュージーランド首相)
 - 一期目:2009年4月～2013年4月
 - 二期目:2013年4月～2017年4月



*Empowered lives.
Resilient nations.*

UNDPの重点活動分野

- 戦略的計画(2008年—2011年)はUNDPの4つの重点分野として以下を挙げる。戦略的計画(2014—2017年)を現在策定中。

1. 貧困削減とMDGsの達成

2. 民主的ガバナンス(選挙支援、司法制度の強化、情報開示、地方分権の支援)

3. 危機予防と復興(早期警戒システムの構築支援、リスク軽減活動と早期復興支援の調整等)

4. 環境と持続可能な開発(環境への負荷が少ない社会に向けた支援、気候変動への緩和・適応支援)

国連システムの調整役



*Empowered lives.
Resilient nations.*

- UNDP総裁は国連開発グループ(UNDG)議長として、国連諸機関の国レベルでの活動の調整役。
- 国レベルでは国連常駐調整官(RC)制度の管理。
- “Delivering as One”(一つの国連)を推進。8つのパイロット・カントリー(ベトナム、パキスタン、モザンビーク、タンザニア等)で試行的に実施。
- マルチ・ドナー信託基金の運用・管理。

人間開発報告書の出版



*Empowered lives.
Resilient nations.*

- 1990年出版。人間開発指標(HDI)による「人間中心の開発」の提唱(所得の向上だけでなく、教育、医療、安全、人権の面からも判断)。日本は10位(2013年)。
- 1994年には「人間の安全保障」という概念を最初に紹介。
- グローバル、リージョナル、ナショナル・レベルでの報告書作成。
- 毎年テーマを設けて出版。
 - 2008年 「気候変動」
 - 2009年 「人の移動と開発」
 - 2010年 「国家の真の豊かさ」
 - 2011年 「持続可能性と公平性」
 - 2013年 「南の台頭」



*Empowered lives.
Resilient nations.*

ミレニアム開発目標(MDGs)(1)

8つの目標(2015年まで)

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 普遍的初等教育の達成
3. ジェンダー平等の推進と女性の地位向上
4. 乳幼児死亡率の削減
5. 妊産婦の健康の改善
6. HIV・エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7. 持続可能な環境の確保
8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進



*Empowered lives.
Resilient nations.*

ミレニアム開発目標(MDGs)(2)

- UNDP総裁は2001年12月、国連事務総長によって国連システムにおけるMDGsの「キャンペーン・マネジャー」兼「スコア・キーパー」に任命。
- MDGsを開発戦略の最重要課題と位置付け、MDGs達成のために、(1)グローバルレベルでの研究活動、(2)各国でのMDGs進捗状況のモニタリング、(3)ミレニアム・キャンペーン活動、(4)政策支援を含めた開発協力の事業の実施を行っている。



*Empowered lives.
Resilient nations.*

UNDPのパートナーシップ

- 国連システム、世銀、EC、地域開発銀行等との連携・協調。
- ドナー国、政府系開発援助機関よりの支援・連携。日本よりは年間約700万ドルの拠出(第6位)。
- 市民社会(CSO)、非政府機関(NGO)との協力:30年以上にわたりCSOと広範な協力関係の構築。(ビル&メリンダ財団、国連財団(テッドターナー)等)
- 企業とのパートナー:途上国でビジネスの展開を通じた貧困層の支援。(シェル、コカコーラ、マイクロソフト等)
- 教育・研究機関との対話。



*Empowered lives.
Resilient nations.*

UNDPの親善大使

さまざまな分野で活躍する7人の著名人が、UNDPの親善大使として、一般の人々を対象とした開発課題への啓蒙・啓発活動を行っています。

1. 紺野美紗子(日本、女優)
2. ホーコン皇太子(ノルウェー)
3. ロナルド・ルイス・ナサリオ(ブラジル、サッカー選手)
4. ジネディーヌ・ジダン(フランス、サッカー選手)
5. ディディエ・ドログバ(コートジボワール、サッカー選手)
6. マリア・シャラポワ(ロシア、テニス選手)
7. アントニオ・バンデラス(スペイン、俳優)



Empowered lives.
Resilient nations.

日本とのパートナーシップ(1)

- UNDPと日本は密接なパートナー
日本はUNDPにとってのトップドナー(コアとノンコアの合計)
2012年はコア4位(8,042万ドル)、ノンコア1位(36,320万ドル)。
【参考】 コア拠出: 1位ノルウェー、2位スウェーデン、3位英国
- 日本とUNDPの重点分野は重複
例: 貧困削減とMDGsへの貢献、持続可能な開発(環境と気候変動対応)、危機予防と復興、平和構築等



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本とのパートナーシップ(2)

- 具体的な協力分野
 - (1) アフガニスタン・パキスタン支援
 - (2) TICADとアフリカ支援 (UNDPは1993年以来TICADの共催者)
 - (3) 気候変動 (アフリカ気候変動対応プログラム)
 - (4) 平和構築 (アフリカ平和維持訓練センター支援)
 - (5) 防災 (世界防災会議in仙台等を通じた防災の主流化)
 - (6) その他 (アラブの春後の中東支援、ミャンマー、パレスチナ、ハイチ支援、南々協力、ジェンダー等)
- 外務省との戦略対話の開催
(第1回2011年10月、第2回2012年11月)



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本とのパートナーシップ(3)

- 市民社会: NGO等との協力: 貧困削減、MDGsに関するアドボカシー(UNDP東京事務所とのセミナー共催、総裁の訪日時における意見交換等)
- 民間企業: オリンパス、ソニー、三井物産との協力
 - (1) オリンパス: アフリカの環境、MDGsに関するフォト・コンテスト
 - (2) ソニー: カメルーンにおけるサッカー・ワールド・カップのパブリック・ビューイング
 - (3) 三井物産: モザンビークのミレニアム・ビレッジにおける太陽光発電と小規模灌漑事業



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本とのパートナーシップ(4)

UNDPにおける邦人職員

正規職員の数 は 1992年の10名が現在は約70名

JPOを加えると約90名 : 拠出金比率に比べるとオーバーレップではない。

•北朝鮮プログラム

(1) 2007年に中断。2009年9月に再開。持続可能な人間開発に資するプログラムを実施。

(2) 日本、アメリカは北朝鮮でのプログラム実施に厳しい見方。



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本とのパートナーシップ(5)

UNDPとJICAの連携

- 2009年11月に覚書(MoU)を署名
- TICADを通じたアフリカ支援、防災、環境、南南協力、紛争予防・平和構築を中心とした連携の強化

- 連携事例(実施中):
 1. ニジェールにMDG Acceleration Framework (MAF)
 2. コンゴ民及びコートジボワールにおける警察研修
 3. イラクにおける円借款モニタリング

- 年次協議を通じた連携状況モニタリング、更新



*Empowered lives.
Resilient nations.*

担当業務

(1) 日本とのパートナーシップ強化

日本政府とUNDP間のハイレベル面談

共通政策課題(防災、低炭素、平和構築、Post-2015等)

(2) JICAとのパートナーシップ強化

JICAとUNDP間のハイレベル会合

現場事業での連携

(3) グローバル・アジェンダ (Post MDGs、南南/三角協力、持続可能な開発(リオ+20)、アフガニスタン支援、防災、平和構築等)

(4) 日本政府からの拠出金管理

日本・UNDPパートナーシップ基金、日本パレスチナ基金(PAPP)、PKOセンター支援(非ODA予算)、紛争予防・平和構築無償、人間の安全保障基金等

(5) TICADアフリカ支援関係



*Empowered lives.
Resilient nations.*

日本とのパートナーシップ(今後の課題)

- ODAの全体的な減少傾向及び国内の経済状況によるコア予算への影響
- 日本の納税者に対する更なるアドボカシー
- ノンコア資金の効果的な動員(緊急性、政策に合致する支援の形成)

ドナーとの信頼醸成

- 拠出金の適切な執行(効果の高い事業を実施する。適切な事業及び財務結果の報告)。
- ドナーのプレゼンスの確保